



Gsef | MEXICO CITY 2020
GLOBAL SOCIAL
ECONOMY FORUM
October 21st-23rd

持続可能な包摂的開発と福祉のための社会的連帯経済

大会概要と募集要項

GSEF2020 プレフォーラム 10月19日（月） - 20日（火）

GSEF2020 全体会議と分科会 10月21日（水） - 23日（金）







I. GSEF2020 について

GSEF2020 は、ラテンアメリカおよび中南米で開催される最初のグローバル社会経済フォーラムとして、特にメキシコおよびこの地域の長い歴史と偉大な文化的多様性に根ざした、成長する世界的な社会的連帯経済運動によって生み出される創造的エネルギーと大きな社会的影響を提示します。

第5回 GSEF フォーラムは、政治的および社会的変化の現在の重要な動きへの対応として、社会的連帯経済が包摂的で持続可能な社会と市民福祉の構築にどのように貢献できるかに

ついて、革新的なアイデアと実用的な提案に焦点を当て、コラボレーションとネットワーク化の機会を提供します。

GSEF2020 の目的

-  社会的連帯経済、具体的には集団のおよびコミュニティの起業家精神に基づいた持続可能な経済開発の経験を交換します。
-  農村部と都市部の両方で発展している社会的経済連帯経済を通じて、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に沿った公共政策の計画や取り組みを、先住民とコミュニティに焦点を当てながら明確にします。
-  社会的連帯経済の最も代表的な課題は何かを特定し、その適切な実行のための地域における解決方法や革新的で効果的な方法をどう見いだしたらよいかを話し合います。
-  協同組合やその他の社会的連帯経済主体のネットワーク化を通じて、社会的連帯経済の確立と強化を補強する。
-  まともな仕事の創出や持続可能で公正な生産と消費の連鎖の強化において、また生態学的な移行に向けての、社会的連帯経済の関連性を強調する。
-  フォーラムのあらゆる面で、若者、女性、先住民・先住民族の積極的な参加を保証する。

GSEF は諸大陸のメンバーで組織される国際フォーラムです。メンバー都市の 1 つが主催する GSEF フォーラムは、社会的連帯経済に関する最も刺激的な国際的な集まりの 1 つであり、国際機関、地方/中央政府、市民社会のネットワークや組織のすべての利害関係者を集めます。GSEF フォーラムは、相互学習、議題設定、知識交換のプラットフォームとして機能します。



GSEF2013 コラボレーションの新しい発見（2013年11月5～7日、ソウル、韓国）

GSEF2014 変化のための連帯（2014年11月17～19日、ソウル、韓国）

GSEF2016 地方自治体と社会的経済関係者-知性的で持続可能な開発のための都市の連携（2016年9月7-9日、カナダ、モントリオール）

GSEF2018 社会的経済と都市-包摂的で持続可能な地域開発のための価値と競争力（2018年10月1日～3日、スペイン、ビルバオ）

GSEF2020 メキシコシティ、メキシコ ラテンアメリカで初めて

II. 中心テーマ

中心テーマ：持続可能な包摂的開発と福祉のための社会的連帯経済

この中心テーマには、社会的連帯経済（SSE）の発展に取り組む地方自治体と市民社会活動体との国際組織である GSEF の基本原則が組み込まれています。それは、社会的連帯経済をその多様な表現で認識することにより、社会的および経済的な発展を促進し、異なる方法で生態学的な移行を達成するための、現実的で、実行可能かつ持続可能なオプションとして、現在ラテンアメリカおよび世界中で行われている議論に直接関連する4つの柱を中心に、明確にされています



不平等の拡大によってしばしば注目されるグローバルな文脈において、世界中の地方および国の政府は、先進国や発展途上国を問わず、共同の富の生産および分配において社会的連帯経済モデルが果たすことができる役割にますます注目しています。社会的連帯経済は、経済活動の始まりから富の分配を統合するモデルです。その結果、社会的連帯経済は、生み出された富の本質的な部分を持続可能で包摂的な開発目標のために割り当てます。

社会経済連帯経済は、経済危機と重大な失業の時期に、そのより透明で持続力をもつ責任ある社会事業政策により、これらの問題に対する大きな回復力と低い脆弱性を実証してきました。

GSEF2020 は、メキシコとラテンアメリカの視点を国際的な議論の中心に据える一方で、社会的連帯経済が、真の代替であるより包摂的で持続可能な方法で、地域の経済と社会の発展とすべての市民の幸福へどのように貢献できるかについて、世界レベルで多様な意見を共有します。

III. テーマの四つの柱とサブテーマ

1 第一の柱： 経済開発と福祉

不平等と富のギャップが世界規模で継続的に増加している状況では、すべての人に公平な機会と平等な機会を提供する社会は現実からほど遠い。あまりに多く、利益の最大化を追求することがすべての経済活動において最も重要な目標であり、世界的にますます不均一な富の分配を生み出しています。2019年のオックスファムのレポートによると、世界の億万長者の財産は12%増加し、最貧層の3億8千万人の収入は11%減少しました。このような背景に対して、全世界の市民は、経済、都市、地域の徹底的な変革を求めています。これらの願望に応えるために、政府は社会的連帯経済（SSE）によって具現化された新しい経済開発パラダイムにますます注目しています。SSEは、経済的、社会的、環境的価値を提供するための代替方法であるだけでなく、社会的資金調達メカニズム等を通じてリソースを解放する賢明な方法でもあります。このテーマの柱の下で、「誰も残さない」というアジェンダ2030の精神の達成に向けた経済変革に貢献するSSEの可能性を活用する方法を検討します。

サブテーマ

- 1.1 社会的ファイナンス、社会的バンク、社会的投資
- 1.2 移行のエージェント： 貧困を緩和する技術と手段
- 1.3 体系的な方法での持続可能な開発目標の統合とローカリゼーション、
- 1.4 幸福の文化： 社会的連帯経済を通じて福祉を推進するための公共の政策、プロジェクトおよびベストプラクティス
- 1.5 食品システム
- 1.6 仕事の未来

2 第二の柱：環境復元力

世界は洪水、地球温暖化、大気汚染などの生態系の危機に直面しており、政府、生産者、さらには消費者による「通常のビジネス」態度の失敗を明らかにしています。これらの慣行は、環境の限界を尊重した持続可能な生息地、公正な生産と消費の決定的な重要性を無視しています。環境回復力と地球の持続可能な開発を確保するために、天然資源の過剰消費と過剰搾取を防ぐ新しい生き方が緊急に必要です。このテーマの下で、社会的連帯経済が気候変動の影響を緩和するのにどのように貢献できるかを議論します。

サブテーマ

- 2.1 都市部と農村部の関係
- 2.2 食料安全保障と食料主権
- 2.3 モビリティと接続性、持続可能な生息地
- 2.4 生態都市

3 第三の柱：社会的包摂、社会的結束、文化と移民、連帯と公平のための社会的連帯経済

不平等と差別と戦うためには、すべての利害関係者が自分たちの権利と尊厳を効果的に保護するための解決策を開発する必要があります。社会的連帯経済は、資本より人間を優先するという原則を通じて、個人と地域、都市部と農村部の間で拡大する不平等と差別を緩和することにより、すべての人々に平等な機会を提供する重要な役割を果たしてきました。地域社会に根ざした社会的連帯経済の組織と企業は、コミュニティと地域内での社会構造の維持、およびすべての国での社会的結束の構築に大きく貢献し、それによって人々の緊急のニーズに効果的に対応しています。このテーマの下で私たちは、すべての人に平等な機会を確保し、連帯、参加、包摂、公平の価値に基づいて社会的連帯経済の生産的活動を社会的ニーズに結びつけ、いかに社会的結束により良く貢献できるかについて議論します。

サブテーマ

- 3.1 社会的問題：社会的連帯経済は社会的包摂、移住、社会的結束にどのように対処するか
- 3.2 移住の取り組み
- 3.3 社会的連帯経済の包摂的で平等な文化
- 3.4 南北協力；地域、地方、国際レベルでのコラボレーション

4 第四の柱：民主的ガバナンス

自主的な経営、参加、および集団的意思決定という社会的連帯経済の原則は、社会的な目標を達成する能力を保証するものです。民主的なガバナンスと集団所有権は、リソースの透明で効果的な使用にとって不可欠です。このテーマの下で、社会経済的および環境的影響を最大化するために、公的および民間の関係者とコミュニティの間でパートナーシップとコラボレーションを構築する方法について議論します。社会的連帯経済は参加型民主主義の実践であるから、すべての人々に利益をもたらすために、プロセスはすべての人々の民主的

値と効果的な参加に基づいていなければなりません。

サブテーマ

- 4.1 社会的連帯経済の企業および組織のガバナンス
- 4.2 社会的連帯経済のネットワークのガバナンスと典型的構成
- 4.3 政策立案に影響を与える手段としての社会的連帯経済当事者と政府、連携組織およびネットワークとの間の対話
- 4.4 コモンズ；開発用の共通プラットフォーム
- 4.5 社会的影響、社会的影響の測定および管理

IV. GSEF への参加

参加の呼び掛け





GSEF2020 の中心テーマの四つに関連し、政府と社会的連帯経済組織との間での公共政策の共同創造もしくはパートナーシップの重要性をしめすような、発表に値する優れた実践例をお持ちではないでしょうか？

われわれとあなたたちの経験とアイデアを共有させてください。

応募方法

採用された提案は、GSEF2020 メインフォーラムのテーマ別ワークショップで紹介され、採用された自主企画セッションへの提案は、プレフォーラムとメインフォーラムの両方の一部となります。提案を出した個人/組織/機関には、GSEF2020 学術委員会が各テーマ分野別の以下の基準に従って審査した後、提出期限日から 2 か月以内に採用が通知されます。自主企画セッションに割り当てられるスペースと時間は非常に限られているため、採用される提案の数は参加団体ごとに 1 つと制限されます。

選択基準

-  性別のバランス、地理的多様性、および若者、女性、先住民の代表といった重要な要素は、選択時に考慮されます。
-  GSEF メンバーが優先されます。
-  公共政策の共創のための政府と社会的連帯経済の組織・企業との協力で作られたプロジェクトや取り組みが優先されます。
-  革新的な実践とアプローチに基づいて構築されたイニシアチブと取り組みの提出が奨励されます。

発表方法のカテゴリー

GSEF 大会の会議での発表の仕方には次の 3 つのカテゴリーがあります。

1. 分科会での発表（10 月 21 日-23 日）

以下のリンクまたは当組織のウェブサイト www.gsef2020.org で利用可能なオンラインフォームに記入することにより、選択したサブテーマでイニシアチブまたはプロジェクトを提出できます。

10 月 21 日から 23 日にかけてメインフォーラムで開催されるテーマワークショップセッションの一部として、選ばれたイニシアチブが紹介されます。発表者は、地方組織委員会によって設定された規制に準拠して、旅費を賄うための部分的な財政支援を受ける権利があります。イニシアチブが採用された個人または機関のみに、提出期限後 2 か月以内に連絡されます。



2. 自主企画セッション（10 月 21 日-23 日）

以下のリンクまたは当社のウェブサイト www.gsef2020.org で利用可能なオンラインフォームに記入することにより、選択したサブテーマについて提案を提出できます。自主企画セッションは、自分たちで独自の様式でセッションを組織化または共同組織化するチャンスです。

このカテゴリーは、自己資金による提案のみを対象としていることに注意してください。GSEF2020 のメインフォーラムでは、10 月 21 日から 23 日にかけて、関連するテーマ分野の 1 つで、選ばれた提案にスペースが提供されます。提案が採用された組織/機関のみが、提出期限後 2 か月以内に通知されます。

3. プレフォーラム（10 月 19 日および 20 日）

GSEF2020 の一環として、先住民族とコミュニティ、若者、女性と性別、地方自治体と公共政策、研究者の日という 5 つのテーマでプレフォーラムが開催されます。

フォーラムの 4 つの中心テーマの柱に加えて、これらの横断的テーマは、すべての声に耳を傾け、関連する現在の問題を振り返り、集合的、協調的、人間中心のアプローチを通じて包摂的で持続可能な社会に向けた課題に対応する最適なソリューションを特定する機会をもたらします。また、プレフォーラムは、これらのグループが経験とアイデアをネットワークで共有し、交換し、協力するための時間とスペースを提供します。



プレフォーラムとネットワーキングイベントは、10 月 19 日と 20 日にワークショップ、展

示、討論、会議の形式でこれらのテーマの下で開催されます。

補足情報

私たちは、地域の包摂的で持続可能な開発と市民の福祉に対する社会経済連帯経済の貢献を示す取り組みとプロジェクトを歓迎します。これらのプロジェクトは、社会的連帯経済の諸団体、地方自治体、または異なるエージェント間の協力によって設計および実施された可能性があります。GSEF2020 テーマ別ワークショップでは、一般的に1つの共通サブテーマの下で3~5つの取り組み発表をグループ化します。

- ワorkshopの予想所要時間：1時間半（各ワークショップセッションで提示されたイニシアチブの総数に割り当てられた時間）
- 発表したい提案の提出期限：2020年3月31日火曜日
- 言語：実践発表/セッションの提案は、英語、スペイン語、またはフランス語で提出する必要があります。

* GSEF2020 メインフォーラムでは、英語、スペイン語、フランス語の同時通訳が提供されます。ただし、このサービスはすべてのテーマごとのワークショップセッションで保証されるわけではありません。

重要：GSEF2020 公式ウェブサイトから提出された提案のみが検討されます。



For further information or any inquiry, please contact:

INFO@GSEF2020.ORG

V. カレンダー



提出期限：2020年3月31日（火曜日）*

選出された提案の通知：

-自主企画セッション 2020年4月

-分科会での発表 2020年5月

プレフォーラムとネットワーキングイベント：2020年10月19日～20日

グローバル社会経済フォーラム： 2020年10月21日～23日

メキシコシティでお会いしましょう

SEE YOU IN
MEXICO CITY



GOBIERNO DE LA
CIUDAD DE MÉXICO



GOBIERNO DE
MÉXICO